

中・高・大学生のための金融・経済学習コンテスト

第26回 **日経 STOCKリーグ**

株式投資を通じて社会をまなぼう!

# 金融の学びで 未来を拓け!

日経STOCKリーグは経済や株式投資について学びながら、興味関心を基に投資テーマを決め、ポートフォリオを構築する、コンテスト形式の金融・経済教育プログラムだ。このほど、第26回大会の各賞が決定。最優秀賞をはじめ、入賞した全20チームが一堂に会する表彰式も開催された。



NY研修旅行にて



**OUTLIER~グロースの夜明け~**  
東京大学 経済学部 3・4年 首藤昭信ゼミ



部門優秀賞  
中学部門

**食の砂漠にオアシスを**  
~フードデザート問題の投資による解決への挑戦~  
筑波大学附属駒場中学校 3年



部門優秀賞  
高校部門

**NEXT SHELTER FRAMEWORK**  
~TKBが変える新時代の避難所~  
立教池袋高等学校 1・2・3年



部門優秀賞  
大学・専門学校部門

**Hybrid Activist-PE Model**  
~変革余地企業の復活劇~  
神戸大学 経済学部 3年 岩壺健太郎ゼミ

その他の受賞学校紹介

★敢闘賞

立教池袋中学校 1・2年「24時間 眠らぬ経済」/長野県上田高等学校 2年「都市と投資でつくる未来~スマートシティ調査団だけど質問ある?~」/神奈川県立相模原中等教育学校 4年「Carboner~GXの未来を切り開け~」/早稲田大学 商学部 3年 奥村雅史ゼミ「Japan Innovation is Back~R&D投資で創る持続可能な未来~」/同志社大学 経済学部 3年 新聞三希代ゼミ「3D strategy~Beyond Transformation~」

★アイデア賞

昭和学院秀英中学校 3年「住めるすめ~“香り”が引き起こす社会課題~」/愛媛県立松山南高等学校 2年「未来への処方箋~AI技術とタスクシフト~」/立命館慶祥高等学校 3年「鹿肉食うしかない!~エゾシカ被害からジビエ利用へ~」/産業能率大学 経営学部 2・3年 倉田洋ゼミ「重心移動」/同志社大学 経済学部 3年 新聞三希代ゼミ「ラストフロンティアとの共創~Co-creation with the Last Frontier~」

★ルーキー賞

東大寺学園中学校 3年「サンゴと海を愛する」/山崎学園 富士見高等学校 2年「ぎょぎょ魚~未来の海は、レジの前で決まる~」

★審査委員特別賞

筑波大学附属駒場中学校 3年「睡眠への橋を架ける~寝なきや」を「寝たい」に~」/雙葉高等学校 1年「きのこまちで待つMaaS」/立教池袋高等学校 3年「菜ゴミライ」/東京大学 工学部 3年 田中謙司ゼミ「HUMAN IS ALL YOU NEED」

★NOMURA Award(特別賞)

これまで日経STOCKリーグを通じて、金融・経済教育の普及にご尽力いただいた指導教諭・教員の方々を表彰します。

中学	軽井沢風越学園	本城 慎之介 理事長
高校	土浦日本大学中等教育学校 日本学園高等学校	藤田 見久 副教頭 堀越 和彦 教諭
大学	産業能率大学 法政大学	倉田 洋 教授 高橋 美穂子 教授



立教池袋中学校  
1・2年



長野県上田高等学校  
2年



神奈川県立相模原  
中等教育学校 4年



早稲田大学 商学部  
3年 奥村雅史ゼミ



同志社大学 経済学部  
3年 新聞三希代ゼミ



昭和学院秀英中学校  
3年



愛媛県立松山南  
高等学校 2年



立命館慶祥高等学校  
3年



産業能率大学  
経営学部 2・3年 倉田洋ゼミ



同志社大学 経済学部  
3年 新聞三希代ゼミ



東大寺学園中学校  
3年



山崎学園  
富士見高等学校 2年



筑波大学附属  
駒場中学校 3年



雙葉高等学校  
1年



立教池袋高等学校  
3年



東京大学 工学部  
3年 田中謙司ゼミ



野村ホールディングス  
執行役員  
経営企画本部 経営企画担当  
岸田 吉史氏

**心身の充足  
成長続ける姿勢から**

野村グループは次世代を担う若者の正しい投資理解を促す目的から日経STOCKリーグの特別協賛を第1回大会から続けている。これまで多くの若い才能が本コンテストを通じて成長し、社会に出てからも幅広い分野で活躍していることに喜びと誇りを感じる。

今回の審査ではAIの使用が論点となった。重要なのは使うかどうかではなく「どう使うか」。使用者の独自性こそが価値であるとの意識し、使いどころを見極めてほしい。

当グループでは心身に健康で社会的に満たされる「ウェルビーイング」に必要な要素として、一人ひとりが自分らしく成長し続ける「ウェルグロウイング」を提唱している。今後も金融経済教育を通じて若い世代の学びと成長を支援する。

**問題意識と仮説で  
AI時代にアイデアを**

日本経済新聞社主催、中・高・大学生のための金融・経済学習コンテスト「日経STOCKリーグ」の第26回表彰式が2026年3月14日、都内会場とオンラインのハイブリッド形式で開催された。第26回大会は過去最多の2223チーム、8939人が参加。会場には最終審査をくぐり抜けた20チームの学生生徒と関係者が集った。受賞した学生たちは入賞の喜びや感謝を述べ、内閣府大臣政務官をはじめ大会関係者からは激励の言葉が贈られた。

審査委員長の吉野直行氏の講評では「過去のデータ収集などはAI(人工知能)の積極的な活用で効率化を。ただし、新しいアイデアはAIからは生まれない。レポート作成を通じて養ったような、主体的に問題を見つけ仮説を立てる思考力こそが必要であり、社会に出てからも求められる」と学生たちの挑戦を後押し。世界共通の話題である金融経済の知識を身につけ、国際社会で活躍する人材へと成長してほしいと、参加学生たちの未来に期待を寄せた。

特別協賛

**NOMURA** | 100 YEARS

主催：日本経済新聞社  
後援：文部科学省、金融庁、日本証券業協会、日本取引所グループ、全国公民科・社会科教育研究会、一般財団法人 日本私学教育研究所、公益財団法人 全国商業高等学校協会、全国高等学校長協会

「日経STOCKリーグ」事務局

Tel: 03-3545-9823 [10:00~18:00 ※土日祝日を除く]

受賞レポートなど詳細は、経済学習サイトman@bow(まなぼう)で公開中!

<https://manabow.com/> まなぼう

